

2013年 通算79号 平成25年4月

〒262-0025 千葉県花見川区花園5-1-3

(JR新検見川駅山側下車 平和交通バスルートグリーンベルト上)

事務所 ☎ 043-299-1101

事務所 ファックス 043-299-1104

事務所 月～金 13:00～17:00

民主党千葉県市議会議員団

さんぺいニュース

輝枝

皆様のご意見をお寄せ下さい。



自宅 262-0025 千葉県花見川区 花園1-10-3-103

(JR新検見川駅山側下車 ポテトサンドイッチ並び)

自宅 ☎ 043-274-4985

自宅 ファックス 043-274-4986



ブログ 花見川レポート

メール sanpei3@d3.dion.ne.jp

ブログ・HP さんぺい輝枝 (で表示されます。)



皆様のご意見をお寄せ下さい。

熊谷市長 2期目のスタート!!

投票率は31.35% (有効総投票数23万2852票)
熊谷俊人 17万5126票

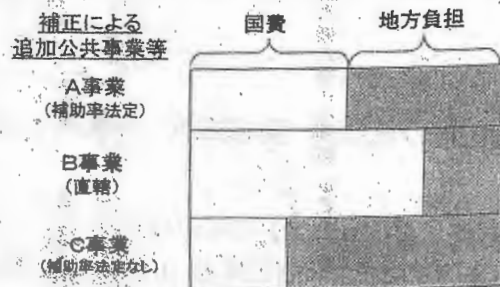


5月26日おこなわれました市長選挙におきまして皆様方の圧倒的ご支援で、2期目のスタートとなりました。今回の選挙戦で、市長は、情報公開の徹底や財政の立て直しに取り組んだ実績を強調するとともに、子育て支援や、高齢者福祉、経済の活性化に向けた取組をさらに充実してゆきたいと訴えました。

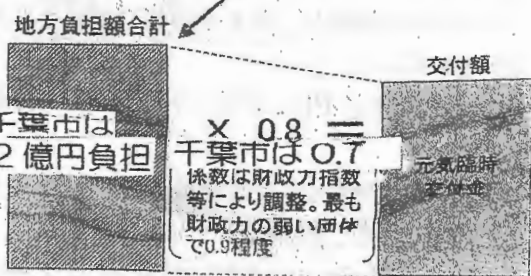
2期目は一段と攻めの姿勢をもって取り組んでいくとの決意でした。特に、財政改革(財政の健全化)、子育て支援策、高齢福祉政策、千葉市経済の活性化(企業誘致・専攻新都心の活性)、地域の活性化などがあります。次の4年間は、市長の強力なリーダーシップを期待するとともに、私たち市民自らが市政に物申し、市政に参加し変えてゆこうという姿勢でありたいものです。

地域の元気臨時交付金のスキーム 平成24年度の補正予算と 25年度の新年度予算の関係

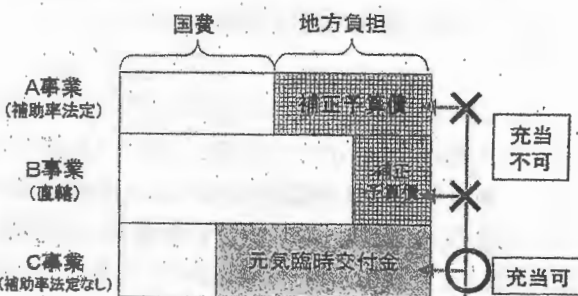
■ある地方団体への元気交付金の交付額(例)



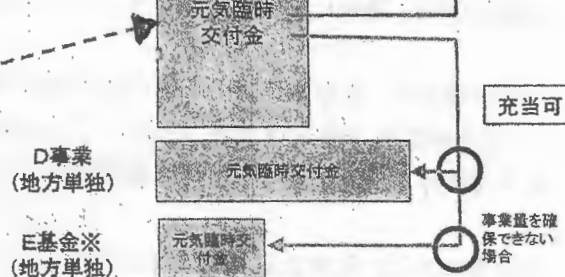
千葉市全体で約52億円



■実際の交付金の充当イメージ(例)



千葉市は約14億9千万円



※ H25年度以降に地方単独事業等の財源とすることができる。

平成24年度の国庫補助金と市債の活用で52億9,575万円で、国の公共工事の追加に伴い、25年度に予定していたものを平成24年度の補正に計上。

教育施設の整備 校舎等の耐震補強、エレベータ設置 約39億円

都市基盤整備 下水道の耐震他

道路のストックの総点検・橋梁長寿命化修繕

市営住宅宮野木町第二期建て替え・計画修繕

公園の遊具交換・街区公園の整備

国の公共事業の追加に伴う自治体の負担に対応するために交付される地域に元気臨時交付金を活用し実施する単独事業右図の中の・千葉市は14億9千万円と表示しているものです。当初予算に計上。校舎等の改修・7億8,500万円

区役所の改修・道路の整備。公民館図書館の改修・コミセンの改修等

ヒューストン市との千葉市議会議員団交流



特別支援学級について

特別支援学級は10年前に私が質問をしてから、急速に学級が増加してきました。

しかしながら急速に学級が増加してきたからこそ、問題点も更に明らかになってきました。

教育委員会も少しづつ改善されてきていると感じる部分もありますが、相変わらず旧態依然の状況が続いています。

今回は、一つの障害以外の障害等が一人のお子さんにおいて確認できる時の学校現場や保護者の皆様の声を、教育委員会が実態をどのように把握し、どのように対応していくのかを中心に質問を第2回定例会7月の議会で取り組んでいきます。



平成25年3月18日(月)

ヒューストン市の議員等の皆様と千葉市議会の議員団との交流会に参加。

私の隣には、カントリーダンスの指導者として奮闘しているミスタートニーを囲み、和やかなひと時を過ごしました。

国際交流は私達市民生活にも大きな影響をもたらしますし、合わせて経済的な貢献も期待したいものです。

左端さんべい輝枝。2番目ミスタートニー。3番目岩井議員。右端国際交流課課長(申し訳ありません。)

2013年03月27日

福島県の飯館村・南相馬市・川内村の視察に。

放射線の影響で復興に課題が

平成25年3月23日(土)~24日(日)

福島県の飯館村・南相馬市・川内村に民主党一区総支部のたじま要衆議員のご案内で視察実施。

私達2区総支部も加わり参加しました。

たじま要衆議員は、民主党政権に派遣され福島原発の事故により、放射線の対策にあっていました。

上記の視察先では、土日にも関わらず、村長さん市長さんが対応して頂きました。

私はこれまで多くの行政視察をしてきましたが、土日の組長の対応は初めてでしたので、感激しました。

こうした対応をしていただいた理由は、すでに皆様、ご存じのように、たじま要衆議員が地域に寄り添い地域の皆様の声に対応してきたからに他なりません。

だからこそ、昨年12月の、たじま要衆議員の選挙にも応援に来ていただきました。そして、今回の様な視察が実現しました。

私は、これまで宮城県の七ヶ浜に、ボランティアで瓦礫ひろいに参加。

拾っても拾っても土の中から湧いて出てくる様でした。

また、自治労の組織内議員の皆さんと仙台市の被災状況、瓦礫の処理にあたり、大手企業のジョイントにより数台の建屋なしの清掃工場のフル活動と、きりぎりし分別された、瓦礫の山々をバスの中から見て回りました。

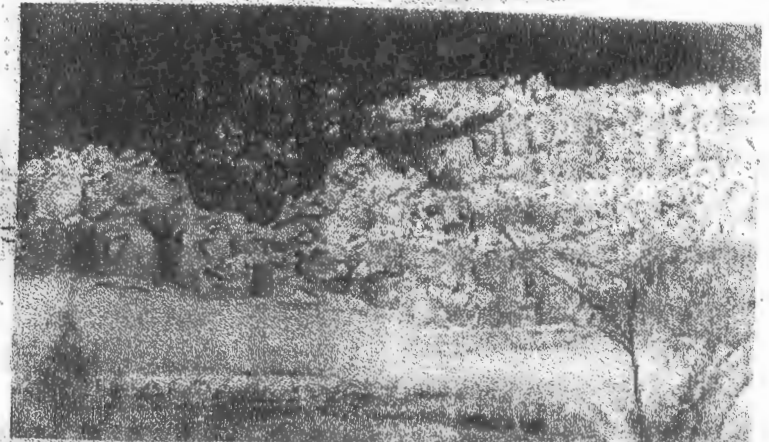
復興の第一歩は始まっていると感じました。

更に、海の高さと陸の高さがほとんど同じでしたが、地震によって地盤が沈んで満ち潮の時は、陸地にまで海水が今もって入ってくるという事も伺ってきました。

今回の視察は、東日本において最も厄介な被災の一つとなっている原発の事故により、放射線が町や市の復興を立ち遅れている状況を目の当たりにしてきました。

私達は対岸の火事とせず、真剣に取り組んでいかなければならないと心に刻みました。

南相馬市から立入禁止区域の直前の所までバスで行きました。



川内村では、独自に干草を計上し、住む範囲において落ち葉や土壌を集め袋に詰め、一袋は10kg程あります。市の保有している敷地に仮置きしていました。勿論、写真に写り切れない袋の数です。

